

科目名	ニットデザイン論Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	120	作成者	佐藤良祐

【科目の到達目標】

本科目ではニットの基礎知識を身に付け、自ら企画を立てて時流とニーズに沿った提案ができニットデザインを考える為の基礎能力と感性を身につけることを目標とする。

【科目の概要】

ニットの成り立ちや歴史、産業の構造や機能、糸や編み地、編み機の種類など
ニット全般の基礎的な知識と技術を幅広く学びそれらを有効に活かした企画力を向上させる。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1,2	ニットデザイン論概要	31,32	企業デザイナーの仕事とクリエイション
3,4	ニットの歴史と現在までの流れ	33,34	デザインとテキスタイル①
5,6	ハンドニット基礎知識	35,36	デザインとテキスタイル②
7,8	デザイン演習①	37,38	デザインとテキスタイル③
9,10	工業用ニット基礎知識	39,40	上田学園プレタポルテ展示会企画①
11,12	デザイン演習②	41,42	上田学園プレタポルテ展示会企画②
13,14	ニットアイテムバリエーション	43,44	上田学園プレタポルテ展示会企画③
15,16	デザイン演習③	45,46	上田学園プレタポルテ展示会企画プレゼン
17,18	ニット用素材バリエーション	47,48	企業マップ①
19,20	デザイン演習④	49,50	企業マップ②
21,22	ニットブランド商品企画	51,52	企業マップ③
23,24	ニットブランド商品企画	53,54	企業プレゼン
25,26	ニットブランド商品企画	55,56	オリジナルマップ①
27,28	上田学園コレクションデザイン	57,58	オリジナルマップ②
29,30	上田学園コレクションデザイン	59,60	プレタデザイン・検討会

【成績評価方法】

課題60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】『ファッションニュース』株式会社INFASパブリケーション

Simon Seivewright『ファッションデザイン・リサーチ』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2011年

Robert Leach『FASHION DESIGN RESOURCE』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2013年

【教材・教具】

筆記用具 専用ノート オリジナルプリント 画材 棒針 かぎ針
ファッション週刊誌WWDジャパン

科目名	ニット実習 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	佐藤 良祐

【科目の到達目標】

ニット製品の特徴を把握し、クリエイション力を高め、作品製作への総合的な力を付ける。
 ハンドニットでの基礎的な編地の制作方法を学び、マシンニットとの違いを理解する。

【科目の概要】

ニットの構造を理解する為手編みでの作品制作を行いニットの特性を理解する。
 ニットデザインで学んだ基礎知識を元にオリジナルデザインデザインを生み出す技術力を高める。

【授業計画】 90分/コマ		【授業計画】 90分/コマ	
前期		後期	
1-2	棒針編み・鉤針編みについて	31-32	ニットスワッチ作製
3-4	ニットの常識（糸・編地について）	33-34	家庭機について
5-6	棒針編み・鉤針編みについて②	35-36	ラグランスリーブカーディガン
7-8	棒針編み・鉤針編みについて③	37-38	ラグランスリーブカーディガン
9-10	棒針編みの基礎・部分編み①	39-40	ラグランスリーブカーディガン
11-12	棒針編みの基礎・部分編み②	41-42	ラグランスリーブカーディガン
13-14	ニット小物①	43-44	部分編み各種
15-18	ニット小物②	45-46	部分編み各種
19-20	棒針編みの基礎・部分編み③	47-48	ニット小物
21-22	丸首プルオーバー	49-50	リンクングワーク
23-24	丸首プルオーバー	51-52	オリジナルデザイン
25-26	丸首プルオーバー	53-54	オリジナルデザイン
27-30	丸首プルオーバー	55-56	オリジナルデザイン
		57-58	オリジナルデザイン
		59-60	まとめ

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

編み物道具一式、家庭用横編み機、リンクングマシン

科目名	ニットCAD演習Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 35 % 実習 65 %
時間数	120	作成者	大熊彦次

【科目の到達目標】

編地、編み機、糸、製品づくりなどの、ニットの基礎知識の習得
ニットCAD、編み機を使って実際にデザインした編地を作成できる。

【科目の概要】

ニットアパレル製品を企画、立案する上で基礎となるニットの基本的な知識と技術
が理解できる人材の育成を目指す。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1,2	ニット基礎 編み機、CADの紹介 & 各機能 CAD操作と編立デモ	31,32	前期復習
3,4	ニット基礎 ニットの特徴、糸と番手 他	33,34	成形編み 概要(スタイル名称、成形寸法入力)
5,6	CADの操作 基本機能	35,36	成形編み 概要(企画書から製品作製の流れ)
7,8	CADの操作 自動制御(色番号と編み組織)	37,38	インターシャニット概要
9,10	CADの操作 自動制御(オプションライン)	39,40	オリジナルデザイン検討
11,12	編み機操作 編成準備(糸のセット、マニュアル操作)	41,42	オリジナルデザイン検討 編地相談
13,14	編み機操作 ディスク操作、メンテナンス対応等	43,44	データ作成
15,16	データ作成と編立 天竺・リンクス	45,46	↓
17,18	データ作成と編立 透かし柄、ケーブル柄	47,48	データ作成 & 編立
19,20	データ作成と編立 ジャガード	49,50	↓
21,22	データ作成と編立 演習の復習	51,52	↓
23,24	各自デザインの編地作成	53,54	↓
25,26	↓	55,56	↓
27,28	まとめ、復習	57,58	まとめ、総復習
29,30	前期テスト	59,60	後期テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

島精機ニット基礎クラス講習マニュアル

【教材・教具】

筆記用具 ノート USBメモリー

科目名	クリエイションテクニック	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義20 % 実習80%
時間数	90	作成者	酒井知可子

【科目の到達目標】

レディスウェアの基本アイテムであるシャツ、パンツにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。
また、企業研究に基づいた、各企業に提案出来る創作作品を製作する。

【科目の概要】

【科目の概要】 ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。
企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	シャツの製図		31 創作作品(上田学園コレクション作品又は企業向けアイテム)の製図
3・4	シャツの裁断、芯貼り		32
5・6	シャツの縫製		33 創作作品(上田学園コレクション作品又は企業向けアイテム)の仮縫い
7・8	シャツの縫製		34
9・10	シャツの縫製		35 創作作品(上田学園コレクション作品又は企業向けアイテム)の裁断
11・12	シャツ 仕上げ 提出		36 創作作品(上田学園コレクション作品又は企業向けアイテム)の芯貼り
13・14	パンツの仮縫い準備・仮縫い		37 創作作品(上田学園コレクション作品又は企業向けアイテム)の縫製
15・16	パンツの仮縫い・補正		38 ↓
17・18	パンツのパターン展開・仮縫い		39 ↓
19・20	パンツパターン作成		40 ↓
21・22	パンツの裁断・縫製		41 ↓
23・24	パンツの縫製		42 ↓
25・26	パンツの縫製		43 ↓
27・28	パンツの縫製、仕上げ		44 創作作品(上田学園コレクション作品又は企業向けアイテム)のプレゼン準備
29・30	提出		45 創作作品のプレゼンテーション(試験)

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『ブラウス』『パンツ』 配布プリント

【教材・教具】

筆記用具・洋裁道具一式・製図用具一式

科目名	パターンメイキング I (ニット)	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習 80%
時間数	120	作成者	上田安子パターン担当

【科目の到達目標】

理論を技術に結びつける。アイテムのパターンをデザイン画を見て表現できるようになる

【科目の概要】

時代のデジタル化に伴い、ファッション業界におけるパターン分野では3DやCADの多様化が進んでいる。しかしパターンの基礎・応用が確立した上でのデジタル化が必要不可欠である。この科目では原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	(1/2)パンツ バギー・ベルボトム	31	BEACH WEAR 製図
2	(1/2)ペグトップパンツ・フレアーパンツ	32	トワール組(中縫いミシン)補正後、工業パターン作り
3	スラックスパターン作成(自分サイズ)	33	(1/2)身頃続きの袖(マチ)三角マチ、ひし形マチ、五角マチ
4	デザインパンツ 製図	34	(1/2)どれか1型トワール組み
5	トワール組み(両身)	35	スカートのバリエーション
6		36	
7	ダーツ操作のバリエーション ウエスト2型	37	
8	センター・ゴージ	38	トワール組み
9	ショルダー・アームホール	39	工業パターン作成・仕様書作成
10	襟のバリエーション スタンドカラー2種	40	
11	シャツ・台襟シャツ	41	身幅の移動OP増量→JK、COへ
12	フラットカラー・ステンカラー	42	キモノ袖原型→カット無しへ(2型トワール検討)
13	袖のバリエーション 谷1/3・3/1-1.5	43	メンズシャツ 製図
14	谷1/3-5 トワール組み	44	パーツパターン抜き出し
15	タック・フレアー・ランタン	45	トワール組み
16	ペタル・ジゴ	46	
17	BLOUSE 製図	47	子供服 原型、子供ワンピース
18		48	トワール組み
19	トワール組み	49	ジーンズ 製図
20		50	パーツパターン抜き出し
21	創作ブラウス 製図	51	トワール組み
22		52	
23	上記の中からダーツ操作身頃+襟+袖1体トワール組	53	工業パターン作成・仕様書作成
24		54	
25	工業パターン、仕様書作成	55	マウンテンパーカー
26		56	
27	Tシャツ 製図	57	トワール組み
28	縫い代付きパターン・仕様書作成	58	
29	まとめ	59	まとめ
30		60	

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

服飾手帖社『パターンメイキングⅡ』

山路俊美『メンズ製図集抜粋』 配布プリント

【教材・教具】

筆記用具、製図用具、模造紙、製図用シャープペンシル カッター、メンディングテープ、ドラフトテープ
トワール、シルクピン、ミシン用具、鋏

	ドレーピングⅠ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	上田安子パターン担当
【科目の到達目標】			
ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに出来る。			
【科目の概要】			
立体製図(ドレーピング)技術を習得することで、今日アパレルメーカーで求められるスピード感や、新しい素材や難しいデザインに対応出来るスキルを獲得する。凸凹のある女性の体(ボディ)に布地(トワール)を合わせてゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作る技術、およびこれを平面パターンにする方法を学ぶ。			
【授業計画】 90分/コマ	前期		
1、2	「ドレーピング概論」 ・ボディ、トワールの扱い方の講義		
3、4	ショルダーカット(ダーツ)		
5、6	アームホールカット(ダーツ)		
7、8	サイドカット(ダーツ)		
9、10	ウエストカット(ダーツ)		
11	ステンカラー カットで作った身頃を使用		
12	ピーターパンカラー カットで作った身頃を使用		
13	台襟付きシャツカラー カットで作った身頃を使用		
14	開襟シャツカラー カットで作った身頃を使用		
15、16	身頃の復習(ダーツ)		
17、18	ブラウス シャツカラー(ショルダー切替)		
19、20	シャツカラー(上記のジャケット)		
21、22	一枚袖(上記のジャケット)		
23	タイトスカート		
24	タイトスカートのパターンどり		
25、26	フレアースカートの製作		
27、28	まとめ		
29、30	前期試験		
【成績評価方法】			
課題作品の評価 60% 期末試験 30%・・・評価シートによる 授業研究態度 10%			
【教科書・参考書】			
オリジナルプリント			
【教材・教具】			
トワール、シルクピン、黒綿テープ、アイシーテープ、はさみ、メンディングテープ、カッター、製図道具、模造紙、製図用シャープペンシル			

科目名	コンピュータ演習 II	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	2 年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につける。Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使しポートフォリオが作成できる。
 アパレルCADを利用したパターンを作図する方法を理解する。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。
 このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、
 使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期	
1		自己PRシート作成(写真を撮影し画像処理)	16	前期ニット編地まとめ ポートフォリオ
2		” ロゴマーク作成	17	構成
3		ポートフォリオ作成 ポートフォリオの考え方(要素・機能・効果)	18	デザイン出し
4		スキャナーなどからの画像の取り込み方(画像解像度を理解する)	19	ハンガーイラスト
5		レイアウトの基礎マップ作成 Photoshopを使った画像合成	20	まとめポートフォリオ完成 ↓
6		ハンガーイラストの描き方Illustratorを使ったペンツールなどのテクニック	21	プレタ企画マップ作成
7		デザイン画の着色方法 線画に着色、柄を作成し着色する	22	プレタ企画マップ作成
8		Photoshop作成画像をIllustratorでレイアウトしポートフォリオを完成する	23	企業提案用ポートフォリオ作成
9	CAD	タイトスカート パターン作成(Pattern Magic)	24	構成
10		ハンガーイラスト作成(縫製仕様書)	25	デザイン出し
11		タイトスカート2本ダーツ製図	26	ハンガーイラスト
12		表地工業用パターン作成 裏地工業用パターン作成	27	企業提案用ポートフォリオ完成 ↓
13		マーキング(Marker Magic) 仕様書指示書作成	28	企業見学レポート
14		まとめ	29	企業見学レポート
15		テスト	30	テスト

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

コンピュータ演習*アパレルCAD*

【教材・教具】

プリントやPDF等で配布 メモリフラッシュ 筆記用具

科目名	ファッションビジネス論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実技 20 %
時間数	30	作成者	三谷 和也
【科目の到達目標】 ・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。 ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。 ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。			
【科目の概要】 ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考える アパレル業界のしくみの本質を理解し、今の時代にあったビジネス感を養う			
【授業計画】 90分/コマ 1 アパレルにおける仕事の流れ。 2 機能素材の話。機能ウエアの話実習 3 テキスタイル産地の現状 4 原料メーカー、専門商社、産地(デニムの知識) 5 5大コレクションと観察カトレーニング 6 機能素材の話。機能ウエアの話実習 7 日本のファッション史と観察力 8 繊維関係各社の仕事内容 (学生面談) 9 VMDの話 A4に実習 10 コロナ禍置けるブランド戦略(注目会社) 11 ブランド作成、ブレインストーミング 12 店舗開発についての話とパースの考え方。 13 これからのファッションにおけるブランドビジネスについての講義 14 即戦力として知っておきたい計数についての講義 15 テスト 筆記試験			
【成績評価方法】 ・ 授業における評価 40 % ・ プレゼンテーション 20 % ・ 期末試験 40 %			
【教科書・参考書】 ・ 織研新聞 ・ WWD ・ ファッション蘊蓄辞典（アポロ出版）			
【教材・教具】 ノート ・ 筆記用具			

科目名	ファッションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	30	作成者	三谷和也

【科目の到達目標】

半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期
1	9頭身応用編、オリジナルのポーズ作成	
2	顔(前、横、斜め)髪、手、足	
3	男性ポーズ、顔、髪型	
4	小物、靴、ドレスデザイン(B4ケント紙)	
5	ドレスデザイン(B4ケント紙)	
6	キッズの書き方	
7	ニットデザイン(B4ケント紙)墨入れ	
8	ガッシュ着色(B4ケント紙)	
9	マーカー着色(B4ケント紙)	
10	パステル着色(B4ケント紙)	
11	テーマ 宇宙自由デザイン	
12	ファーデザイン&ニットデザイン	
13	テーマキルティングダウン	
14	フォーマルスーツ	
15	テスト	

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
ファッション画(志村萌)NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100 % 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【科目の到達目標】

市場動向を読み取り、デザインにあった素材選びのできるスペシャリストを目指す。
 アパレル素材の役割を理解、繊維特性、布地の構造による機能の違いなど専門知識を修得する。

【科目の概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。
 講義を通じてさまざまな繊維の機能性、加工による付加価値を理解。さらに布地構造による基本特性を把握し、
 アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
 ■アパレル製品の生産流通経路(1)
 繊維・糸・布地
- 2 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
 メーカー、産地など
- 3 ■布地の種類
- 4 織物
- 5 編物
- 6 レース
 布地まとめ
- 7 ■家庭用品品質表示法 品質表示の見方
- 8 ■繊維の種類と特性
 天然繊維(植物繊維)
- 9 天然繊維(動物繊維)
- 10 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 11 化学繊維(合成繊維)
- 12 ■繊維の機能性
- 13 ■糸の種類と太さ
- 14 まとめ(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物評価40% テスト50%(期末試験40%, 小テスト 10%) 授業態度10%

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年
- ・田中道一、『生地の事典』,株式会社みずしま加工, 2013年

【教材・教具】

- ・筆記用具

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	高瀬 博文
【科目の到達目標】			
古代から18世紀末までのファッションの歴史やその背景にある思潮・美学を知り、現代のファッションへの繋がり、そして創造への活かし方を考える。			
【科目の概要】			
古代エジプト～18世紀末のフランス革命時代までのファッションについて、その時代の代表的なスタイル等を解説する。同時に、それらの生み出す美、またそれらの現代ファッションへの繋がりを理解する。			
【授業計画】	90分/コマ		
1	服飾の始原		
2	古代エジプト		
3	古代ギリシア		
4	古代ローマ		
5	ビザンチン帝国		
6	5世紀～12世紀西ヨーロッパ		
7	13世紀		
8	14世紀		
9	15世紀、16世紀前半（ルネサンス）		
10	16世紀後半		
11	17世紀（ルイ13世時代）		
12	17世紀後半（ルイ14世時代）		
13	18世紀前半（ルイ15世時代）		
14	18世紀後半（ルイ16世時代）		
15	19世紀の代表的服飾		
【成績評価方法】			
平常点の評価 70% テスト30%			
【教科書・参考書】			
小西松茂『西洋服飾史』服飾手帖社 昭和50年,			
【教材・教具】			
筆記用具			

科目名	キャリアデザイン	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ニットファッションデザインコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

クリエイター学科が目指す卒業後の進路・就職先の獲得と卒業後のスキルアップの方法を修得。

【科目の概要】

アパレル業界を中心とした川上・川中・川下の理解と社会人としての基本マナーの習得、就職活動の方法や面接、グループディスカッションの技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 就職先となる業界の現状把握(A先生)
- 2 就職活動までに準備すべき内容(B先生)
- 3 ポートフォリオの制作方法(B先生)
- 4 企業分析の方法と対策(C先生)
- 5 インターンシップの活用方法(C先生)
- 6 エントリーシートの記入方法(C先生)
- 7 自己PRと志望動機のポイント(C先生)
- 8 個別面接対策(C先生)
- 9 グループディスカッション(C先生)
- 10 卒業後のスキルアップ(C先生)
- 11 社会人マナー①(D先生)
- 12 社会人マナー②(D先生)
- 13 社会人マナー③(D先生)
- 14 社会人マナー④(D先生)
- 15 キャリアサポートセンターの活用方法(A先生)

【成績評価方法】

提出物評価90% 授業態度10%

【教科書・参考書】

「キャリアテキスト」株式会社パーソナルヴィジョン研究所

【教材・教具】

筆記用具、参考プリント